

◆「～てくる・～ていく」の用法は次のように整理されます。

意味		例
具体的 空間的	①ある動作の後の移動	ちよっとパンを買ってくる。 花を買っていこう。
	②その状態での移動	学校からたくさん本を抱えてきた。 駅まで走っていく。
抽象的 時間的	③継続	今までずっと我慢してきた。 これからもこの仕事を続けていく。
	④変化の進行	病状が良くなってきた。 次第に上手になっていくだろう。
	⑤出現	元気が出てきた。
	⑥消滅	恨みの感情が消えていった。
	⑦開始	急におなかか痛くなってきた。
その他		

◆文章の中では、書き手はふつう自分を中心にして、自分の位置から物事を述べます。

そして、その位置をずっと変えません。

例・社内の動きをずっと見てきたが、この1、2年、雰囲気が大きく変わってきた。社長は何度も海外に飛んでいき、そのたびに緊張した表情で帰ってきた。外国の会社とうまくやっていくためには国際性が必要だが、国内の需要に頼って新製品を作ってきたわが社に、その力があるかどうか分からない。

話者のいる時点：現在 ①見てきた ②変わってきた ⑤やっっていく ⑥作ってきた

話者のいる位置：国内・会社 ③飛んでいき ④帰ってきた

◆移動を表す動詞に「～てくる・～ていく」をつけないと、動作の方向や話者のいる位置がわかりません。

例 × 珍しい鳥が飛んだ。(鳥がどちらの方向へ移動したかわからない。)



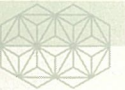
- 珍しい鳥が飛んできた。(鳥は自分の方へ来た。)
- × 学生が教室から出た。(話者は教室の中にいるか、外にいるかわからない。)
- 学生が教室から出ていった。(話者は教室の中にいる。)
- 学生が教室から出てきた。(話者は教室の外にいる。)

練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 幸せは歩いて(a こない b いかない)。自分で求めなければならないのだ。
- 2 山田君から「子供を連れて(a きても b いっても)いい?」という電話があった。
- 3 入院中の夫は会社の同僚が見舞いにお金を持って(a くる b いく)のが嫌でたまらないらしい。
- 4 玄関の外に出て待っていると、子供たちは「お祭り、楽しかったよ。」と言って、帰って(a きた b いった)。
- 5 お客様は「おじゃましました。」と言って、帰って(a きた b いった)。
- 6 父は、「あ、たばこがない。ちよっと買って(① a くる b いく)。」と言って、出て(② a きた b いった)。
- 7 駅で偶然会った友人に昼ご飯に誘われたが、食べて(a きた b いった)から、と言って、断った。
- 8 高校を卒業してからずっと父の店を手伝って(a きた b いった)が、そろそろ独立しようと思っている。
- 9 次のオリンピックを目指して頑張って(a こよう b いこう)と思っています。
- 10 退院後、だんだん体力がついて(① a きました b いきました)ので、来週からは出社しようと思っています。これからは無理しないでやって(② a きます b いきます)から、大丈夫です。

練習2 適当なものを選びなさい。

- 1 わたしは教室の外の廊下でリンさんと立ち話をした。その後彼女は教室に()。
a 入っていた b 入ってきた c 入っていった
- 2 今度()隣の部屋の人はずごいボリュームで音楽を聞く。うるさくて困っている。
a 引っ越した b 引っ越してきた c 引っ越していった



- 3 リンさんはときどき真夜中に電話を()。そんな時は、次の日眠くてたまらない。
 a かける b かけてくる c かけていく
- 4 20年ぶりにふるさとの海へ行ってみた。懐かしかった。子供のころよく()。
 a 泳いだものだ b 泳いできたものだ c 泳いでいったものだ
- 5 駅のホームで男がわたしに()。すぐに逃げられなかった。
 a つかみかかっていた b つかみかかってきた c つかみかかっていた

練習3 「くる・いく」を適当な形にして、____の上に書きなさい。また、この話をしたときの話者の位置がどこか、a、bから選びなさい。

- 1 入場券を買った後、このロッカーに荷物を入れて____ほうがいいですよ。その大きな荷物を持って館内を見学するのは大変ですよ。
 (話者の位置：a 館外 b 館内)
- 2 あ、太郎、わたしのサンダルがそっちへ流れて____しまったから、拾って！
 (話者の位置：a 川の上の方 b 川の下の方)
- 3 ベンチに座ってぼんやり辺りを見ていたら、子供を数人連れた女性が近づいて①____、ベンチのそばで子供の数を確認し、植物園に入って②____。
 (話者の位置：a 植物園の中のベンチ b 植物園の外のベンチ)
- 4 通勤時のバスは込んでいる。四つ目のバス停で3人降りて①____が、8人乗って②____。次のバス停でも同じだった。
 (話者の位置：a バス停 b バスの中)
- 5 夫は今、上海で仕事をしています。先日、上海で知り合った人を連れて①____が、その人の日本語がとても上手だったのでびっくりしました。四日後、夫はまた上海に戻るとき、日本語のテキストをたくさん持って②____。上海で使うのだそうです。昨日電話がかかって③____。来週日本から大勢お客さんが訪ねて④____ので、忙しくなるようです。
 (話者の位置：a 日本 b 上海)

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、**1** から **5** の中に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

われわれは「絶対ダメ」と決めつけることによって多くの可能性を奪っていないだろうか。希望することによってこそ可能性も生まれてくるのだ。遠くのことを眺めているうちに、案外希望が**1** ことがある。あるいは不必要ないがみ合い(注1)が消えてゆくときもある。あるいは、思いがけない解決のヒントが見えることもある。

「遠くを眺める」ことの一つとして、十年先を**2** どうだろうか。現代では十年先のことを予見することはなかなか困難である。しかし、そんなに難しい予見などと言わなくとも、ただ「十年後はどうかな」と試してみるだけでも、われわれの生き方は少し**3** のではなかろうか。今、カンカンになってけんかをしている相手が、十年どころか四年後には定年でやめ、再就職で**4** だろうと思うだけで、けんかの仕方も少しは変わることだろう。

人間は苦しい状況に追い込まれると、もう耐え切れない(注2)と思い、ひどく悲観的になってしまったり、焦ってきて、しなくともいいことをしでかしたりするものだが、そんなときに、十年後はどうなっているだろう、こんな馬鹿げたことが十年も、というよりは、五年も**5** はずはないだろう、などと思ってくると、少しゆとりが出てきて、判断も確かになってくる。

(河合準雄『過保護なくして親離れはない』五月書房による)

(注1) いがみ合い：争い合い

(注2) 耐え切れない：我慢できない

- 1**
 1 わいてくる 2 わいていく 3 わいてきた 4 わいていった
- 2**
 1 眺めてくると 2 眺めていくと 3 眺めてみると 4 眺めない
- 3**
 1 違ってくる 2 違ってしまう 3 違ってきた 4 違ってしまった
- 4**
 1 苦労してくる 2 苦労している 3 苦労してきた 4 苦労していた
- 5**
 1 続いてくる 2 続いてきた 3 続く 4 続いた